

地方創生拠点施設整備交付金（平成29年度分）事業検証

- ・事業期間 H29. 3～H30. 1 ※工期の延長により平成30年度に繰越
- ・効果検証の方法、時期及び体制

方法・体制：吉富町まち・ひと・しごと創生有識者会議を活用し、計画期間の中間期及び終期において、個々の事業のKPI達成度（見込み）を検証し、必要に応じて事業の進捗促進のための措置を講じる。まちづくり会社設立の進捗状況、イベントの効果検証と問題点の抽出、マーケティング調査の活用状況等に照らしながら、時期方向性を検討する。時期：平成30年3月

- ・交付決定 平成29年2月24日 交付決定額 30,000千円
- ・背景 町のコンパクトさを活かし、役場、小学校、保健、子育て、体育等の公共施設が町の玄関口であるJR吉富駅周辺地域に集中して整備され、高い利便性を有している。しかしながら駅周辺の町中心部にはこれまで店舗等が殆どなく、現状では通勤通学者や公共施設利用者のみで人の流れが形成されている。更に近年では空家も増え、人口も逡減傾向にある。せっかくの町の顔である駅周辺部を活かせないまま、「何もなくて、活気がない町」というイメージが出来上がっており、集客力は近隣市町と比較しても圧倒的に弱い。これらの現状を鑑み、平成28年度から駅周辺を中心エリアとして「女子集客のまち推進プロジェクト」を実施しており、チャレンジショップの設置、マルシェの開催、空家活用店舗事業の推進などを行うことで、商業の活性化、創業支援、賑わいづくり、空家活用などに取り組んでいるところである。
- ・目的・事業内容 本事業は、上記「女子集客のまち推進事業」の核となる吉富駅横に、情報発信施設や多目的トイレなどを備えた高機能かつデザイン性の高い休憩施設を建設し、来街者の呼び込み、回遊性の向上、再来訪の推進、商業圏の拡大、町のイメージアップ、情報発信力の強化などを目指す。特に、女性や子育て世代に配慮した多機能なトイレを備え、快適性を向上させることで、滞留時間増加を図る。

計 画 (PLAN)					実施内容 (DO)		評価 (CHECK)		改善 (ACTION)	
No.	事業の名称	事業の概要	交付対象事業に要する費用		重要業績評価指標 (KPI)		評価検証 (状況及びKPI)		次年度実施内容	
1	「女子集客のまち」駅前拠点施設整備事業	女子集客のまちづくりの核となるJR吉富駅前に、情報発信機能や多目的トイレを備えたデザイン性の高い複合的休憩施設を建設した。 情報発信スペースでは、町の施策やイベントなどの周知を行い来街者や移住希望者にアピールするほか、町が実施する創業支援施策のPRも行い、潜在的創業希望者の掘り起しや新規創業者の呼び込みを図る。 また、チャレンジショップを中心とする駅周辺の店舗への来客者の滞留場所としても活用し、回遊性及び快適性の向上、再来訪の促進、商業圏の拡大、町のイメージアップにつなげる。 施設の内外装については「女子集客」の視点を踏まえ、主に女性や子ども連れをターゲットとした趣向・工夫を凝らしたものとする。	○実施設計業務委託料 5,000千円	○新築工事費 55,000千円	地方創生推進交付金事業に準ずる。		<ul style="list-style-type: none"> 平成29年 3月 予算措置 平成29年 4月～ 庁内協議 平成29年 6月 設計業者決定 平成29年 7月～ 設計業者打ち合わせ 平成29年11月 建設業者決定 平成29年12月～ 建設業者打ち合わせ 平成30年 1月 工期延長協議 ※ガラス製品の納品施工に時間を要することが判明したため <ul style="list-style-type: none"> 平成30年 8月 竣工 平成30年12月 供用開始 		女子集客のまちづくり事業の拠点として、利便性の高いトイレや情報発信機能、快適な滞在スペースなどを有する施設を建設した。駅など周辺施設と一体性があり、かつデザイン性の高い内外装で、来街促進、滞留時間の増加、情報発信力の強化、駅前や町のイメージアップにつながる施設となった。	建設完了 以後、効果的な情報発信と適切な管理を行い、施設の有効活用に努める。
			計 60,000千円							